

石川町

議会だより

No. 196

平成30年 8月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会広報
編集特別委員会



▲郷土教育の場 自由民権史跡(鈴木家屋敷)

2018

6月定例会

P2 **6月定例会 審議結果**

P4 **紙上中継(各常任委員会)**

P5 **6月定例会 一般質問**

P10 **あれからどうなった?**
(一般質問のその後は)

P12 **「町民の意見を聞く会」から
6項目の要望書を町長へ提出!**

平成30年度

国民健康保険税決まる

国保税率が4年連続で引き下げられました

6月
定例会

平成30年度の国保税は、被保険者の負担軽減のため、前年度の決算剰余金を充当し、医療分・後期高齢者分・介護分の所得割、均等割、平等割が、それぞれ引き下げられました。

また、地方税法の改正に伴い、低所得者の負担を軽減するために算出方法が見直され、対象者が拡充されました。

その結果、1世帯当たりの保険税が20,083円減額され、率にして12.53%減の14万250円となりました。

◆医療分基礎課税額

医療機関にかかったときの医療費等の給付費用に充てるための財源として納めるもの。

区分	現行	改正案	比較
所得割	7.08%	6.88%	▲0.2%
均等割	20,070円	18,510円	▲1,560円
平等割	一般世帯	19,170円	▲3,600円
	特定世帯	9,585円	▲1,800円
	特定継続世帯	14,377円	▲2,700円

◆後期高齢者支援金課税額

75歳以上の医療保険である後期高齢者医療制度を支援するため、その医療費等の財源の一部として納めるもの。

区分	現行	改正案	比較
所得割	2.37%	2.39%	0.2%
均等割	6,810円	6,450円	▲360円
平等割	一般世帯	6,030円	▲610円
	特定世帯	3,015円	▲305円
	特定継続世帯	4,522円	▲457円

◆介護納付金課税額

介護保険制度の財源として、40歳以上65歳未満の加入者（介護保険第2号被保険者）が納めるもの。

区分	現行	改正案	比較
所得割	2.72%	2.03%	▲0.69%
均等割	10,500円	6,900円	▲3,600円
平等割	6,030円	4,300円	▲1,730円

※所得割：加入者の所得に応じて課税します。

※均等割：加入者1人につき、定額で課税します。

※平等割：加入者数に係わりなく、1世帯につき、定額で課税します。

6月定例会は6月7日から13日までの7日間の会期で開かれました。条例の制定及び一部改正、補正予算などの議案が提案され原案のとおり可決したほか、請願3件、議員発議3件を審議しました。また、一般質問には5人の議員が町政を問い、傍聴には35人が訪れました。

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案・請願	審議結果	
議案 第39号	石川町指定文化財鈴木家主屋設置条例の制定について	原案可決	全 員
議案 第40号	石川町税条例等の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第41号	石川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第42号	石川町体育館条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第43号	平成30年度石川町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全 員
議案 第44号	平成30年度石川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全 員
議案 第45号	土地の取得について	原案可決	全 員
請願 第6号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採 択	全 員
請願 第7号	モニタリングポスト撤去計画の中止を求める請願	採 択	全 員
請願 第8号	旧優生保護法下における優生手術の被害者に対する補償及び救済等の早期解決を求める請願	採 択	全 員

議案番号	発 議	審議結果	
発議 第6号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	原案可決	全 員
発議 第7号	モニタリングポスト撤去計画の中止を求める意見書	原案可決	全 員
発議 第8号	旧優生保護法下における優生手術の被害者に対する補償及び救済等の早期解決を求める意見書	原案可決	全 員



◎議案第45号
土地の取得について

今回取得する土地は、総合運動公園に隣接し、現在、樹木雑草等が繁茂している荒廃地で、環境保全上も支障をきたしている場所である。町が取得し総合運動公園と一体的に管理すること、景観維持に配慮しながら一部を墓

場 所

石川町字白石地内

面 積

11,148.29㎡

取得価格

10,829,981円

地公園として活用し、有効な土地利用を図る公園整備事業用地として購入するものである。

総務産業建設常任委員会

町道の改良について

Q 町道213号線（母畑字藤扱沢く牛沼間）の道路改良事業とは。

A 町道213号線は、県道古殿・須賀川線から、あぶくま高原道路母畑インターに繋がる道路として利用されていますが、カーブが多く、道幅が狭いことから

拡幅などの改良について、母畑地区の町政懇談会や議会報告会などで要望が出されています。

町では、こうした要望に応え6月補正予算に道路用地の測量設計業務経費を計

上して、改良工事に向けた準備を進めています。

Q 今後はどのような進められるのですか。

A 今年度は、県道古殿・須賀川線からの入口にあたる藤扱沢地内の約100mについて測量設計を行う予定となっておりま

す。町道213号線は、全長が約2、600mと長いことから改良工



▲藤扱沢地内の町道213号線

事には長い時間を要することになりますので、道幅が狭い箇所などを優先的に改良しながら早期の完成を目指します。地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。

文教厚生常任委員会

公営墓地の実施設計について

Q 今回の補正予算に公営墓地の調査、測量及び実施設計委託料が計上されましたが、ここに至るまでの経過と計画の内容を伺う。

A 平成22年に石川地方生活環境施設組合において公営墓地の分譲が行われましたが、区画数を大幅に上回る希望者がいたことにより、公営墓地に対する需要が多く、定住施策としても重要であることから整備を検討してきました。

場所については、石川町字白石地内、



▲石川地方生活環境施設組合公営墓地の現況

石川町総合運動公園に隣接する土地に、周辺の環境整備と合わせて、150区画程度の公営墓地を検討しているところであります。今年度は、調査測量と設計を実施し、平成31年度に区画の分譲を目指しております。

Q 町単独の「住宅背後地災害対策事業」を創設できないか

A 最優先の課題である。庁内で良く検討する



瀬谷 寿一 議員

●今出川改修等に
関連する道路整備に
ついて

質問 今出川改修にか
かる生活道路の緊急車
両進入幅の確保を。

答弁 新設される道路
が子どもたちに安全で、
緊急車両が利用できる
多機能道路を整備され
るよう県に要望します。

要望 旭橋く旭町方面
に伸びる道路と通学橋
く荒町方面の道路につ
いては是非、緊急車両
が入れる道路に整備し
てほしい。

質問 改修された北須

川等に桜の植樹は。
答弁 県としては北須
川については、極力残
す方針でいます。今出
川については、町民の
希望があれば県と交渉
し進めます。

●まちなか、特に北町
地区の避難路は

質問 北町地内の源平
山方面の避難経路の整
備は。

答弁 昨年度、繁松院
と志賀建設詰所奥を一
時的な避難所として案
内看板を設置しました。

質問 北町町有地に県
道から直接進入路を源
平山方面に取り付ける
ことで避難路が可能に

議員のつぶやき

「やっぱ、安心
して住めるこ
とが一番だよ
な」



▲ここから源平山に避難路を

なる。源平山に防災広
場も可能ではないか。
答弁 ご意見を十分考
慮して検討を進めます。

質問 石川バイパスは
防災機能が高い。11
8号との合流点付近が
各方面と連絡など地の
利が良い。「道の駅」
に防災機能を加えては
どうか。

答弁 防災機能は、「道
の駅」をつくる場合の
条件にもなっています。
検討が必要な課題だと
思います。

質問 教育・福祉施設
での避難計画の再点検
は。

答弁 町としては、各
施設の計画の再検討を
お願いするとともに、
早めの避難勧告等を発
令するなど安全に避難
できるよう努めます。

●急傾斜地災害の
対策は

質問 石川町では住宅
背後で急傾斜地が多い。
若者が地域に定着する
ためにも急傾斜崩壊対
策が必要だ。

答弁 県の急傾斜地崩
壊危険区域の指定は急
傾斜地52カ所、土石流
警戒区域100カ所、
地滑り区域3カ所が指
定されています。

質問 治山事業で対応
する事業とは。

答弁 山地災害危険地
域で行う事業で道路、
鉄道などの公共施設又
は、人家2戸以上に直
接被害を与えると認め
られるもの等が該当し
ます。

Q 道の駅なのか？直売所なのか？

A 道の駅をつくらなくてはいけない



根本 重泰 議員

平成30年度の予算に直売所等整備事業予算として100万円の予算が計上されました。

質問 直売所と言わずに、道の駅をつくると言えないのか。

答弁 道の駅をつくるのは私自身の計画に入っておりません。きちっとした考えを持った道の駅を作らなければならず、農産物の直売所ではありません。今年度は担当部署も決めて早い時期に方針を出す。

ここ2、3年の間に着工等もできるぐらいのスピード感を持って

議員のつぶやき

石川町に
ふさわしい
道の駅って…

進めなければならぬ計画だと思っている。

質問 道の駅の制度ができて二十数年たちます。考え方、あり方も変わってきていると思いが。

答弁 ただ物売りの場所ではなく、石川町の観光PRの拠点になるものです。

「さすが石川町の道の駅は違うな」そういうものが必要であり、情報発信と休息、行って見ようという場所が必要だと思います。

意見 今、各地で、地域に足りないものを道

の駅を使って活性化しようとしています。バイパスで空洞化する町中へ観光を誘導する町の広告塔として、特産品開発の拠点、防災の備蓄中継基地、若者の雇用の場としてなど、知恵を出し合う地域づくりが行われております。

質問 今年中に完成までのロードマップができるよう、指導力を発揮するのか。

答弁 2年も3年もかかって計画をつくるのではなく、3年後結果が出るようなものづくりをします。

質問 道の駅に緊急用のヘリポートをつくれなからか。

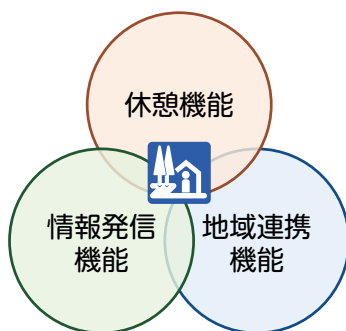
答弁 新消防署にはヘリポートは作らないことになりました。これから考えていく問題だと思っております。

「道の駅」の目的と機能

- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与

地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場

※災害時は、防災機能を発現



24時間、無料で利用できる
駐車場・トイレ

道路情報、地域の観光情報、
緊急医療情報などを提供

文化共用施設、直売所
観光レクリエーション施設など
の地域振興施設

国土交通省資料より

Q 旧雇用促進住宅の改修でアスベストの除去を

A 囲い込みと封じ込め対策で、安全を確保する



渡辺 実 議員

【質問】 公共施設のアスベスト状況と対策は。
【答弁】 平成17年度に吹き付けアスベストの調査をした結果、保健センター機械室、老人ホーム屋根裏、石川中体育館軒天等で確認、封じ込め対策を講じています。

【質問】 アスベスト含有ロックウール、その後追加された保温材や断熱材、耐火被覆材、仕上塗材などを含めて、再調査する必要がある。考えは。
【答弁】 町民の安全がすべてであり、これを基に考えていきます。

【質問】 旧雇用促進住宅の改修でアスベスト2カ所の対策は。
【答弁】 天井部分と階段裏は囲い込み、封じ込めで対策します。

【質問】 若者・子育て世帯用住宅なので、除去をすべきである。考えは。
【答弁】 3年、5年毎に再調査をします。

【要望】 住宅として、30年40年使用する、ボードで覆ったら劣化が分からなくなる。再検討を。

Q 第5次総の課題は
A 人口減少と少子高齢化対策の強化が課題



▲若者・子育て世帯住宅へと改修されます

【質問】 第5次総の総括から見える課題は何か。
【答弁】 人口が目標16,000人を下回り、人口減少と少子高齢化への対策強化が課題です。

【質問】 人口減少になった原因の分析が大事。
【答弁】 出生、転入出数の分析、施策との効果を総括します。
【質問】 働く場所及び地

場産業の振興の総括は。
【答弁】 産業基盤強化を総括の中心に行います。

Q 選挙公報の全戸配布の考えは
A 行政区を通じセンター等に配置

【質問】 自治センター、地域自治協議会など先が見えない、総括を。
【答弁】 「自分たちの地域は自分たちでつくる」の考えで進めたい。

【質問】 町広報の全戸配布の考えは。
【答弁】 90・2%の世帯に配布しています。

【質問】 選挙公報の全戸配布の考えは。
【答弁】 行政区を通じ配布、期日前投票所、窓口、自治センター等に配置しています。

Q 危険空き家対策は

A 「空き家等対策計画」を整理し取り組む



中村孝太郎 議員

質問 町民から隣接する倒壊が心配な空き家の相談がありました。以前にも同様の相談が幾つかありましたが、全国的に空き家問題が深刻化する中で、国も「空き家対策の推進に関する特別措置法」を成立させ、空き家対策に取り組んでいます。「空き家等対策協議会」の設置と「空き家等対策計画」について伺います。

答弁 「空き家等対策協議会」は29年3月に設置されており、「空き家バンク」創設や倒壊の危険のある「特定家屋」問題など、「空

き家等対策計画」を整理し取り組んでいきます。

質問 空き家調査の結果について伺います。

答弁 27年度の調査では、空き家が318件、倒壊などの危険のある空き家が27件、修繕などで居住可能な空き家が260件でした。

質問 空き家の活用と「危険空き家」対策について伺います。

答弁 今後も増えていく状況にあるので「空き家バンク」などを通



▲倒壊前に対策を検討しよう

じ、町づくりにも活用できるように検討していきます。危険空き家などの問題解決にも取り組んでいきます。

Q 町立図書館の司書配置は

A 司書の配置は必要と認識

質問 図書館の専門職の司書は重要ですが、配置について伺います。

答弁 図書館機能の充実に司書の配置は必要と考えており、複数配置を検討しています。

質問 障がい者への配慮について伺います。

答弁 常時複数の職員を配置し、障がい者を孤立させないようにします。

質問 文教福祉複合施設の完成と共に、町民が長い間、要望してきた「町立図書館」も実現することになりました。図書館の開設は何時か伺います。

答弁 31年4月開設を目指します。

質問 図書館の管理運営について伺います。

答弁 開設時間は、仕事帰りなども利用できるよう考慮し、民間への一部委託も探っております。

質問 鈴木家の開放は何時になるのか。管理について、30年度の管理経費730万円の使途を伺います。

答弁 開放は、本年8月24日になります。管理はシルバー人材センターに委託することで進めています。管理経費の使途は、備品購入と工事請負費490万円、施設管理の維持費用に241万円です。

Q 今出川河川改修で街はどう変わる

A モデル的な街づくりの中心エリアになります



瀬谷 京子 議員

質問 河川改修の目的・規模は。

答弁 治水対策を目的に、今出川と北須川の合流点から上流に300mの狭窄部です。河川幅員と両側の管理用道路を含め、今出橋上流が約32m、下流が約36mとなり、あさひ公園に通ずる遊歩道を含めて整備されます。

質問 スケジュールは。

答弁 今後詳細設計と用地や物件の調査をし、平成32年ごろから用地買収を進めながら、工事を行う予定です。

質問 影響を受ける家

質問 屋敷と町の対応は。

答弁 住宅、非住宅、店舗等を合わせて30数戸の建物が影響を受ける予定です。町が間に入り住民の意向を踏まえ県と交渉します。

質問 地域住民の意向調査は。

答弁 平成23年から「川とまちづくり懇談会」を開催し意見交換や、アンケート調査も実施し、要望や提案については今回の整備案に盛り込まれています。

議員のつぶやき

初の女性課長が誕生しました。後に、続いてほしいですね。



▲今出川の改修予定地

質問 今般の説明会で出た意見要望は。

答弁 管理道路はできるだけ広く、代替地の対応もして欲しい、できるだけ早く事業実施して欲しいというものでした。

意見 中心市街地で最大の関心事は移転先だと思う。将来設計もあるので、一日も早く住民の意向を聞き誠意をもって対応して欲しい。

質問 バイパスも開通すると市街地は大きく様変わりする、将来像をどう考える。

答弁 あそこが将来的に本町のポイントになる地域、5年〜10年先はこうしたいとの思いがあります。従来の感覚で無くモデル的な地域づくりのために、専門のコンサルタントを入れ早急に考えます。

Q 町職員の女性の割合と管理職は

A 女性職員は36%、課長補佐以上の管理職は21%です。

質問 女性管理職を何%位にしたいか。

答弁 少なくとも3割位にする職場づくりをしたいと思えます。

質問 男女共同参画プラン今年度の事業は。

答弁 意識の高揚を図る目的で「男女共同参画川柳コンクール」を計画しています。

あれがどのようになった？

一般質問のその後は

平成29年3月
定例会より

文教福祉複合施設(旧石川小学校) 来年春完成予定！

●文教福祉複合施設は、子育てしやすい環境整備、遊び場の提供と図書館、世代間や団体間の交流と生涯学習の機能強化を図りながら多機能拠点として整備するとの答弁だったが、その後の進捗状況は。

●本施設は、子どもから高齢者まで多世代の方々に利用していただ

く施設となります。利用する誰もが使いやすい内容の充実した施設とするため、町民の皆さんと施設の在り方について考えるワークショップを平成30年6月から開催し、話し合いを進めています。

設置条例等を整備していくこととしています。また、このワークショップにおいて、官民協働の管理運営体制づくりを目指し組織作りも進めていく予定です。その中で、町民の皆さんのご協力をよろしく願います。



新たな拠点施設として 来年4月オープンを目指します。

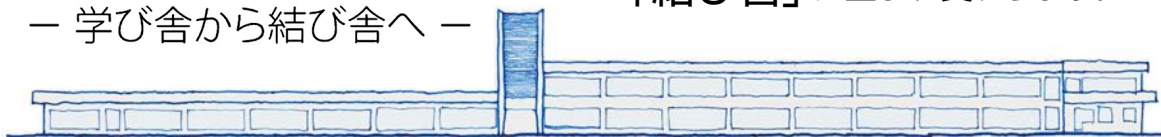
大人は子どもの頃から通っていた学び舎
子どもは今まで通い続けていた学び舎

みんなの学び舎はまちのみんなと
会える場所

「結び舎」に生まれ変わります。

結び舎

— 学び舎から結び舎へ —



鈴木家主屋の

開館について

●石川町における自由民権運動ゆかりの史跡で、町指定文化財の鈴木家主屋（通称・鈴木重謙屋敷）は、本年3月末に復原工事が完了し、8月24日に開館します。

本施設は、明治時代



に自由民権運動で活躍した鈴木荘右衛門・重謙親子の居宅であるととともに、自由民権運動の先導者であり、長く衆議院議員を務めた河野広中が、初代区長として執務にあたった役所跡（石川区会所）で

もありません。復原にあたっては、約150年前の区会所発足時の姿を、今に甦らせることに努めました。

施設内には、自由民権運動に関する歴史資料や解説パネルを展示し、石川地方の自由民権運動を学ぶことができる「郷土教育の場」として整備いたします。

また、休憩スペースやフリーWi-Fiの設置のほか、施設の一部を貸し出し、誰もが集い、交流活動ができる、まちなかの「にぎわいの場」として活用を図ってまいります。皆様のご来館をお待ちしております。

オープン 平成30年8月24日（金）午前10時から

休館日 ①火曜日（火曜日が国民の祝日の場合次の日が休館日）
②12月28日から翌年1月4日まで

開館時間 ①午前10時から午後6時まで（休館日を除く平日）
②午前9時から午後5時まで（土曜日及び日曜日並びに国民の祝日）

入館料 無料

使用料 館内の「どま」「いま」「ざしき」のいずれかを占有して使用する場合、1時間あたり千円の料金がかかります。

ただし、下記の場合については使用料がかかりません。

- (1)県及び町が主催する事業に使用する場合
- (2)町内の学校等が主催し、又は共催する行事に使用する場合
- (3)町内の社会教育団体がその目的のために使用する場合
- (4)町内の地域各団体が地域振興及び地域福祉の向上を目的に使用する場合
- (5)町民の教育・文化の振興を主たる目的として使用する場合

6項目の要望書を町長へ提出!

回答
(抜粋)

4月1日現在の児童数は235名おり、国の基準保育士数24名に対し、町では正職員17名と嘱託職員10名、3名の保育補助員を含め計30名の職員を配置しております。

また、平成28年度に3名、平成29年度に2名、平成30年度に2名の保育士を採用するとともに、嘱託保育士の報酬増額や経験年数加算などの処遇改善にも努めております。

今後も、安定した保育サービスを提供するために、町立保育所の再編整備を見据え、保育士の確保や処遇改善に努めます。

4. 高齢者の生きがいづくりについて

長寿社会の到来に伴い、元気高齢者を増やしていくことが重要である。高齢者の健康増進を図るため、各世代と様々な交流ができる居場所づくりや、豊かな知識、経験を活かすことができる社会活動（長寿会活動等）への参加促進など、元気な高齢者の生きがいづくりを進めること。

回答
(抜粋)

生涯を通して心身ともに健康であるためには、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と健康寿命の延伸が重要であることから、①生活習慣病予防と健康診査の実施、②地区ミニデイサービスや地域サロンの支援、③高齢者運動教室の実施など健康維持と介護予防を推進します。

また、活躍の場や生きがいづくりとして多世代交流を促進するとともに、地域支え合い活動の担い手となる長寿会やシルバー人材センターを支援します。

5. 自動車運転免許証自主返納者への支援について

高齢運転者による重大な交通事故が増加してい

る。町民及び運転技能の低下が見られる高齢者等の交通安全対策の一助として、高齢者等が所持している自動車運転免許証の自主的な返納を誘発するための支援策を講じること。

回答
(抜粋)

高齢運転者の交通安全対策として、運転する時や場所等を選び、年齢による運転技能の低下を補う*「補償運転」や、運転免許証の自主返納を警察や関係機関と連携しながら進め、他市町村の事例を参考に自主返納者に対する支援を検討します。

また、地域公共交通網形成計画により、交通不便地域や交通弱者等への対応として新たな交通サービスの提供を実証・検討します。

*「補償運転」とは、自動車の運転に際し、心身の衰えによって危険が生じるのを避けるための安全運転のことです。

6. 町道整備(10カ年)計画の策定について

身近な生活道路の整備については、その遅れとともに地域間で不均衡が生じていることが指摘されている。快適で安全・安心な道路環境の確保にあたっては、町民の理解のもと、計画的な事業推進が不可欠となるため、町道整備(10カ年)計画を策定・公表し、地域間で均衡の取れた道路の整備や維持管理に努めること。

回答
(抜粋)

本町の公共土木施設の多くは、昭和30年代から40年代に整備され、既に5、60年が経過し老朽化が進行していることから、施設の長寿命化を図るため橋梁・舗装修繕工事や維持補修に努めています。

また、町道改良等の事業推進にあたっては、国の社会資本整備総合交付金事業や過疎対策事業債の財源確認と庁内調整を重ね、総合計画実施計画や過疎地域自立促進計画で示してまいります。



5月17日、姉妹都市である宮城県角田市の議会議員との親善交歓会が開かれました。

今年で28回目となる親善交歓会は、角田市を会場にパークゴルフで親睦を深めて参りました。

姉妹都市
角田市
親善交歓会

報告します
議会の
活動



4月26日、今後の町政に反映されるよう石川町議会として町長へ要望書を提出しましたので報告します。

また、平成30年5月25日に回答がありましたので、紙面に掲載します。

1. 林業の再生について

福島第一原力発電所事故による森林資源の出荷制限に伴い、雑木林の更新伐等に影響が生じており、林業経営意欲の低下が懸念される。現在、町が進めている森林再生事業の拡充等を図りながら、出荷制限の解除、林業の早期再生に取り組むこと。

回答
(抜粋)

本町の森林は伐採更新の時期を迎えておりますが、現在のふくしま森林再生事業を県に対し継続や新規創設を要望してまいります。

また、再生可能エネルギー熱利用設備導入事業化計画により、町有施設へ設備の導入を検討し、バイオマス活用による林業の振興を図るとともに、地域森林計画の対象民有林については、林地台帳を整備し、効率的な間伐や集積等の推進が図られる環境づくりにも取り組みます。

2. 企業誘致、地場産業の振興について

本町では、少子化や若年層の流出等が大きな要因となり、年少人口の大幅な減少が顕在化し、今後もその傾向が続くものと予想されている。若者の定住促進、人口流出の歯止めに向けて、魅力ある就労場所、安定した雇用の確保は欠かせない

め、優良企業の誘致活動の強化はもとより、既存企業の育成・支援、農林業との連携による雇用の創出など地場産業の振興を図ること。

回答
(抜粋)

「人口流出を防ぎ、定住を促進させる」取り組みとして、働く場を創出する「雇用の確保」が重要であることから、既存企業及び創業希望者への支援並びに積極的な企業誘致を推進します。

具体的な事業内容は、国県の企業立地支援策、町の企業立地促進条例奨励金制度により、藤沢工業用地及び中野地内にある工場跡地を有効活用し、企業立地と雇用環境の構築を図ります。

また、商工会と連携した伴走型の創業支援事業等、新たな取組も取り入れながら地場産業の振興を図ります。

3. 保育士不足の解消について

保育士の確保が難しくなる一方で、子育て施策の充実等による保育需要の増加が今後も見込まれる。住民の保育ニーズに応え、安定した保育サービスを提供するため、正規職員（保育士）の増員や嘱託保育士の処遇改善等を行い、保育士不足の解消に努めること。



5月23日、町村議会広報研修会がビッグパレットふくしまにおいて開催されました。

石川町議会から広報編集委員5名が参加し、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏より広報紙づくりの技術を学びました。

読まれる・
伝わる広報紙
づくり学ぶ

未来に向かつて

・ 高校生の声

県立石川高校

3年 緑川 弦希



緑川弦希さん

私はこれまで、勉強と部活動の両方に励んできました。部活動はパソコン部に所属しています。

六月十五日、団体戦メンバーとして、引退前最後の大会に出場してきました。良い結果は残せませんでした。が、これまで培ってきた技術や大会での経験を無駄にせず、これからは生かせるようにしたいです。

三年生になって、新聞を読むようになりま

した。読み始めた理由は、小論文対策のためです。新聞を読み始めて、自分の社会に対する知識の狭さに気づき、恥ずかしく思いました。それと同時に「分

かる」ことの大切さとそれが自信に繋がることを知りました。これからは読み続けようと思います。



▲熱心にパソコン部の練習に励む様子

残された僅な時間を進路実現に向け、日々の授業や家庭学習に意欲的に取り組み、また自分ができるのかを模索し続けていきたいと思

編集後記

この度の西日本豪雨災害並びに大阪北部地震において、犠牲になられました方々に謹んで哀悼の意を表します。また、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

日本は四季折々の景色が素晴らしい所です。しかしながら、近年、地震や災害が頻発し自然の力を見せつけ

られる事が多くあります。安心・安全な暮らしを守る為にも、自然から学び、常に準備し、確認を重ねていく事が大切です。

議会活動におきましても、町民の皆様からのご意見を大切に、スピード感を持って対応して参ります。また、分かりやすく見やすい紙面づくりに心掛けて参ります。

小木 芳郎

議会を傍聴しませんか

9月定例会「一般質問」は**10月2日(火)**の予定です。

議会広報編集

特別委員会

委員長	根本 重泰
副委員長	瀬谷 寿一
委員	近内 雅洋
委員	小木 芳郎
委員	増子美知夫
委員	山田 英重